

平成28年
謹賀新年



本年もどうぞよろしくお祈りします



携帯電話でアクセス

だれもが安心して暮らせる地域づくりのために

社会福祉法人飯山市社会福祉協議会 会長 岸田 勉



明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。日ごろから社会福祉協議会(社協)の活動に格別なご理解とご協力を賜わっていることに対し、厚く御礼申し上げます。

わが国の高齢化率(総人口に占める65歳以上の人の割合)は25%を超えました。長野県の高齢化率は30%に迫り、飯山市では34%を超えています。一方で、一人の女性が一生の間に産む子どもの平均数を示す「合計特殊出生率」はここ数年1・4人程度で推

移しており、少子化も進行しています。働く世代がお年寄りを支えていく、という旧来の枠組みは維持することが困難になってきており、そんな少子高齢化の現代において地域社会を維持していくキーワードは福祉であると考えたとき、社協が果たしていくべき責務の大きさに、身が引き締まる思いです。

公の機関による助けの「公助」の三つが有効に機能しあうことが重要ですが、少子高齢化社会で特に重要なのは「共助」にあると言われており、その精神をさらに進めたものがボランティア活動です。住民が支え合う仕組みづくりも社協の重要な任務ですが、当協議会が2月に主催する「雪掘りとうど塾」はそんな事業の一つです。

飯山市社会福祉協議会では、住み慣れた地域でだれもが安心して生活が送れるように、住民同士の支えあいの地域づくりを目指してさまざまな事業に取り組んでいます。平成14年から隣組長さんには「見守りとうど衆」として活動していただいています。

「更生保護」とは、 犯罪や非行をした人が罪を償い、地域社会で立ち直ることを支援することにも、犯罪や非行のない明るい社会をつくるための国の事業です。この事業が十分な効果を上げるためには、立ち直ろうとする本人の強い意志や関係機関の働きかけのみならず、地域社会の理解と協力が必要です。更生保護女性会は、この更生保護事業に

飯山市更生保護女性会の活動から

ペットボトルキャップご寄附 ありがとうございます

更生保護女性会の活動に賛同していただける女性であれば、どなたでも会員になれます。あなたのあたたかい心を地域づくりに役立ててみませんか。一緒に活動してください。一緒に活動していただく方を募集しています。飯山市社会福祉協議会事務局 ☎02840)までご連絡ください。

12月14日、城北中学校の皆さんからペットボトルキャップのご寄附をいただきました。お寄せいただいたペットボトルキャップは、土のう袋約80袋分にもおよびました。

また、12月18日、飯山養護学校高等部の皆さんからもペットボトルキャップ約3万個とプラタブを1箱分寄附していただきました。生徒会が呼びかけを行い、全校生徒でペットボトルキャップを集めたことを話してくれました。

ペットボトルキャップは、エコキャップ推進協会を通じて再資源化され、再生プラスチックの原材料となります。再生プラスチックをさまざまな製品の原料として使用することで、新品プラスチックを原料として使用したときと比べて二酸化炭素の発生量を大幅に少なくすることができま

飯山市更生保護女性会は今年で40年を迎え、歴代の会長を迎えて総会を開催しました。現在の会員は211名で、次のような活動をしています。

飯山市社会福祉協議会事務局 ☎02840)までご連絡ください。

- 高齢者への活動
オレオレ詐欺にあわないための啓発活動
(寸劇、年金支給日の金融機関前でのチラシ配り)
- 青少年への活動
社会を明るくする運動への参加、午後4時以降の街頭指導へ参加、小・中学生の登下校の見守り
- ボランティア活動
・ボランティア交流集会・障がい者とのバスハイクへ参加
・各地区ごとの活動
施設への支援(飯山学園、常岩の里ながみね、北部子育て支援センター他)子育てサロンの開催
- 研修活動
刑務所への視察研修、県更生保護女性の集いへ参加



防犯活動
飯山駅でオレオレ詐欺防止のチラシ配り



常盤地区更生保護女性会による活動
常岩の里ながみねでの野沢菜洗い



飯山養護学校の生徒の皆さんにペットボトルキャップの車への積み込みを手伝っていただきました。



